

【高等部の学習の様子⑨】

6月13日から、前期の現場実習が始まりました。就業や卒業後の生活するために必要な力を身に付けるために、生徒の学年・実態に応じて、地域の企業や福祉事業所などで実習をする生徒や校内で実習をする生徒に分かれて取り組んでいます。

地域の企業等で実習している生徒は、最初は緊張している様子が見られましたが、企業の方の指示をよく聞いて与えられた仕事に励んでいる姿が見られました。仕事の実況から、徐々に様々な仕事や役割をもらって仕事の幅を広げている生徒もいるなど、それぞれの状況に応じて仕事や作業に励んでいます。

校内で実習をする生徒は、普段の作業班に分かれて、午前の部、午後の部と集中を持続して作業に取り組んでいます。また、将来の就業や生活、校外での実習に向けて必要な「国語科（話す時の注意点）」「美術科（作品と製品の違い）」「社会科（勤労の権利と義務）」「道徳（勇気と希望）」等の内容についても時間をとって学んでおります。

6月24日まで、それぞれの生徒が自立と社会参加に向けて取り組みます。

生徒の学びが充実できるように学校としても一人一人の生徒を支えていきたいと思っております。



校内実習の様子

